

令和5年度 授業改善推進プラン

1 本校における課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・読み手に伝わりやすいように、文章全体の構成を考えて書く力が低い。 ・新出漢字に対する意欲や、定着に関するばらつきが見られる。 ・自分の思いを言語化することに苦手意識がある。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・区の位置や地形、土地利用など実際に目で確認できないことの知識、理解の定着がしにくい。 ・国土の様子や政治に関する用語、歴史上の人物などの必要な知識が暗記できず、定着していない。 ・グラフや資料の読み取りはできるが、それをもとに多面的に考えたり、背景と関連づけたりすることが難しい。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・文章問題の読み取りに苦手意識をもったり、正確に読み取る力がなかつたり不十分な児童が多い。 ・四則計算、数量の単位等の基礎的・基本的な知識の習得にばらつきがある。 ・既習事項で身についた知識や技能を活用し、図や式、言葉で表現することが難しい。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・実験における問題解決の流れの定着が不十分である。 ・予想や考察を自分の言葉で表現する力にばらつきがある。 ・考察をする場面で、観察や実験結果から学習問題に対応した結果を論理的に導き出す力が定着していない。

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる資質・能力。 ・日常生活における人との関わりの中で、自分の思いや考えを伝え合う力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の小テストだけでなく、語彙・文法・文章の書き方の練習をする時間を朝学習の時間で確保する。 ・読む相手や書く目的を具体的に設定したり、字数や要約などの条件を課したりして、自分の考えを書く機会を定期的に設ける。 ・書いた文章を友達と共有する時間を増やし、感想を伝え合う時間を設ける。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や地理的環境、現代社会の仕組みや働きなどの社会生活についての理解。 ・社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力。 ・考えたことや判断したことを適切に表現する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や単元の終わりには大切なポイントや用語を確認してまとめる。小テストやワークシートで知識の定着を図る。 ・資料やグラフから読み取る際には、グループ学習の時間を設定し、多角的な視点や考え方をもてるようにする。 ・社会科見学の時期を適切に計画する。また、自ら課題を設定し、ICTや適切な資料を活用して進んで調べる問題解決学習を増やしていく。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
算数	<ul style="list-style-type: none"> 文章問題を正確に読み取る力。 かさや分量の単位を理解し、間接的、直接的に比較、測定したり、検討をつけて単位を選択したり判断する力。 既習事項を活用して、図や式、言葉で考えを表現する力。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章題で示されている数量関係を構造図を用いて明らかにし、立式できるようにする。 具体物を用いて実際に測定する活動を通して、かさや分量を体感する。また、既習の単位と同系統の単位を学習する際は再度既習単位について確認する。 自分の考えを図や式、言葉で表し、説明する活動を繰り返し行う。友達の考えを取り入れながら自分の考えを深めることができるようICT機器の共有ツールを活用する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	<ul style="list-style-type: none"> 自然の事物・現象についての理解。 観察・実験などに関する技能。 主体的に問題解決しようとする態度。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習過程に繰り返し取り組む。 実験、観察や交流の場面でICT機器を効果的に活動する。 自分の考えをノートに記述したり、他者と話し合ったりする活動を多く取り入れる。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
生活	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身や身近な人々、社会及び自然の良さに対する理解。 自分と社会や身近な人々、自然との関わりについて考えを表現し、自ら学ぶ態度。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達や地域の人々との関わりに重点をおいた活動を取り入れる。教員間でもゲストティーチャーの情報を共有し、適切に授業に取り入れる。 ペア学習やグループ学習を意識的に取り入れ、教科横断的な学習の充実を図る工夫をする。また、児童の気づきや思いを表現し合う活動や場を設定する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能。 曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴く能力。 	<ul style="list-style-type: none"> 五感と頭脳と体を駆使し、歌唱や楽器演奏の技能を身に付けさせる。 反復指導をより丁寧に行うことで児童の知識や技能の定着を図る。 教師による個別指導だけでなく、児童間で教え合う時間を取り入れるなど個々の技術の向上につながるような指導を行う。

図工	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・造形的な特徴の理解及び材料や用具を活用し表す能力。 ・具体的な色や形を多角的に捉え、自分自身の表現を深める能力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた適切な指導計画のもと、常に安全面に配慮して指導を行う。 ・作成意欲や思いを大切にしながら、作成段階での思いや考え、また悩みや迷いに寄り添いながら、造形的な視点を広げ、制作や鑑賞への意欲を高める。

家庭	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要な基礎的な知識理解・技能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題が多い児童には個別対応を行い、知識・技能の習得に向け支援を行う。 ・自ら実践できる見通しをもたせるよう、日常生活に応用できる課題の設定を行う。

体育	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の大切さや自己の健康の保持、増進に進んで取り組む態度。 ・ボールを投げる、泳ぐ等、基本的な動きや技能の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動画撮影をするなどし、課題を明確にしたり自己の成長に気づかせたりする。 ・対話的な学習活動を増やし、仲間と協力して課題を解決することができるよう授業を工夫する。 ・個に応じた場の設定をし、課題にあった練習に取り組めるようにすることで「できた」という実感をもたせる。 ・体育朝会や授業の始まりに様々な動きをする機会を設け、多様な運動経験を積ませる。

国際	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・英語に親しみ主体的に語学力向上に取り組む態度。 ・学習した表現を生かす力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友人や教師との会話を通して発話量を増やし、英語に対する親近感をもたせる。 ・既習の表現を生かした言語活動を設定し、身に付けた表現を使う機会を確保する。

道徳	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分事として捉えながら、自己のより良い生き方について考える力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入5分、展開25分、終末15分を標準とし、振り返りの時間を確保できる授業時間を管理する。 ・主題に関わる問いや立場を決める問い、経験を問うなど、発問の精度を上げる。 ・自分とは違う感じ方や考え方を尊重し、自己の内面に迫る時間を設定する。

	<p>育成を目指す資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級の課題を見出し、解決に向けた話し合い活動の充実。 ・自分の役割に責任をもって主体的に仕事や活動に取り組む力。 	<p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをもち、話し合いに参加できるよう身近な話題を議題にし、話し合い活動の経験を増やしていく。 ・話し合いの方法を型で示し、見通しをもって適切に話し合いができるよう指導する。 ・自信をもって取り組めるよう、できたことを称賛する。 ・スモールステップで明確な到達目標を示す。
特別活動		

	<p>育成を目指す資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を効果的かつ有効的に活用し学習に取り組む力を高める。 ・児童が見通しをもって学習に取り組む力。 ・地域の特性を生かし、身近な環境に興味、関心をもつ。 	<p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年の実態に沿った目標を立て、ICT機器を有効的に使えるよう学習に取り組む。(ローマ字入力、アプリの活用) ・児童が見通しをもてるような課題設定を行い、「まとめ」→「考察」→「新たな課題の発見・設定」という手順で学習を進めていく。 ・児童の興味を引くような課題を設定する。
総合的な学習の時間		